

まなびや訪問

金融教育研究校・
金銭教育研究校
の紹介



6年生の社会科の授業



塩田の古刹「前山寺・三重塔」



中塩田小学校の校舎



サクラ咲く上田城



長野県上田市立中塩田小学校

長野県上田市立中塩田小学校は、2016年NHK大河ドラマ「真田丸」の舞台となった上田市の南西「塩田平」にあり、今年で創立145年目を迎える歴史ある学校です。降水量は全国的にみても少なく、ため池と田園に囲まれた自然豊かな環境の中で、500余名の児童が勉学に励んでいます。

本校は2017年度から2年間、長野県金融広報委員会から金融教育研究校の委嘱を受け、「よりよい社会の形成に向け、子どもたちが問いつける社会科学習の時間はどうかあったらよいか。」子どもたちが、主体的・協動的に追究を深めていくために「〜」をテーマに、地域や家庭とも連携しながら、金融教育の研究・実践に取り組んでいます。

今年度は、6年生の社会科で時代を追いながら、「税の仕組み・あり方」について学習しています。児童は、701年に完成した大宝律令で、「租・庸・調」という物納や労役に

よる税の仕組みが全国的に整備されたことを学び、「お金」による納税ではないことに驚きました。また、6月には、「3人の武将と天下統一」織田信長の政策」と題し、秋の公開授業に向けた事前研究授業を開催しました。児童は、座商人の特権や市場税を廃止した「楽市楽座」や、海外に目を向けた「南蛮貿易」といった信長の様々な政策を比べる中で、経済的な繁栄を図った工夫について学び、社会や経済が変化する中で、市場や税のあり方が変わっていくことに関心を持ちました。

秋の公開授業でも、地元塩田自治センターでの調べ学習を通して、多くの税金が、市民の願いを実現し、生活の向上と安定を図るために大切な働きをしていることを学ぶ予定です。今後も金融教育を通じ、よりよい社会づくりや社会貢献のあり方について、主体的に考えを深められるような力を育てていきたいと思えます。